



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月22日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
コード番号 9708 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 宮新朋明

TEL 03-3504-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	41,835	4.0	3,870	13.7	4,055	13.7	2,692	12.2
27年3月期第3四半期	40,236	2.2	3,404	10.4	3,567	7.3	2,399	16.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,618百万円 (2.2%) 27年3月期第3四半期 2,561百万円 (12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	45.38	—
27年3月期第3四半期	40.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	69,965	50,333	71.9
27年3月期	70,214	48,487	69.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 50,333百万円 27年3月期 48,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当の内訳 普通配当7円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,200	2.7	4,300	10.3	4,500	9.5	2,700	11.5	45.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	59,400,000 株	27年3月期	59,400,000 株
28年3月期3Q	75,845 株	27年3月期	75,843 株
28年3月期3Q	59,324,156 株	27年3月期3Q	59,324,192 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策を背景に企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

ホテル業界におきましては、アジアを中心とした訪日外国人客数の増加及び国内旅行需要の増加を背景に好調に推移いたしました。

当社グループにおきましては、平成27年11月3日に迎えた本社の開業125周年を記念した催事の開催や商品の販売を積極的に展開するとともに、より高品質なサービスを提供すべく改修した本社タワー最上階「プレミアムタワーフロア」の販売を開始し、集客と売上げの向上に全力を注いでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.0%増の41,835百万円となり、営業利益は前年同期比13.7%増の3,870百万円、経常利益は前年同期比13.7%増の4,055百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12.2%増の2,692百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比4.0%増の39,069百万円、営業利益は前年同期比12.7%増の3,854百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比2.9%増の2,781百万円、営業利益は前年同期比9.3%増の1,511百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し69,965百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.8%減少し33,931百万円となりました。これは有価証券などが増加し、一方で、現金及び預金などが減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し36,033百万円となりました。これは投資その他の資産が増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて22.7%減少し7,146百万円となりました。これは賞与引当金や未払法人税等の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比微増の12,485百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し50,333百万円となりました。これは利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,381	20,328
売掛金	3,426	3,967
有価証券	6,735	8,266
貯蔵品	452	685
繰延税金資産	630	253
その他	1,201	438
貸倒引当金	△17	△7
流動資産合計	36,810	33,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,397	14,359
その他(純額)	4,621	4,867
有形固定資産合計	19,019	19,226
無形固定資産	1,263	1,311
投資その他の資産	13,121	15,495
固定資産合計	33,404	36,033
資産合計	70,214	69,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,246	1,612
未払法人税等	781	321
未払費用	1,978	2,189
前受金	1,001	767
賞与引当金	1,018	350
役員賞与引当金	47	44
その他	3,172	1,860
流動負債合計	9,245	7,146
固定負債		
退職給付に係る負債	7,335	7,272
資産除去債務	957	970
長期預り金	4,061	4,116
その他	126	126
固定負債合計	12,481	12,485
負債合計	21,727	19,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	45,769	47,689
自己株式	△89	△89
株主資本合計	48,543	50,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	754
退職給付に係る調整累計額	△831	△885
その他の包括利益累計額合計	△56	△130
純資産合計	48,487	50,333
負債純資産合計	70,214	69,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	40,236	41,835
材料費	8,752	9,128
販売費及び一般管理費	28,078	28,836
営業利益	3,404	3,870
営業外収益		
受取利息	35	38
受取配当金	23	27
持分法による投資利益	33	33
その他	70	86
営業外収益合計	162	185
経常利益	3,567	4,055
税金等調整前四半期純利益	3,567	4,055
法人税、住民税及び事業税	829	923
法人税等調整額	338	440
法人税等合計	1,167	1,363
四半期純利益	2,399	2,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,399	2,692

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,399	2,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	△22
退職給付に係る調整額	△22	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	161	△74
四半期包括利益	2,561	2,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,561	2,618

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,549	2,687	40,236	—	40,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	37,549	2,702	40,251	△15	40,236
セグメント利益	3,419	1,383	4,803	△1,398	3,404

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,069	2,765	41,835	—	41,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	39,069	2,781	41,851	△15	41,835
セグメント利益	3,854	1,511	5,366	△1,495	3,870

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。